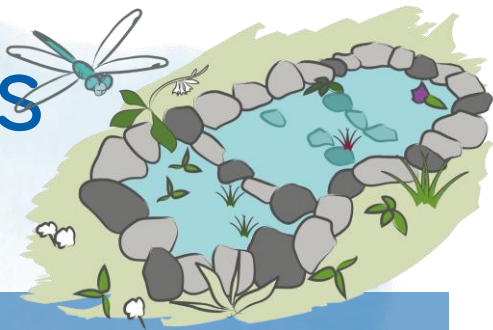


加賀電子ビオトープ NEWS

-第9号- 2026年6月の調査報告



* TOPIC *



ビオトープに現れた新たな植物！

加賀電子ビオトープで初確認の植物「ゴウソ」が見つかりました！

初夏には俵のような小穂^{しょうすい}をつけ、細長い柄の先でゆらゆらと揺れる姿は、どこか涼しげで趣があります。ビオトープ整備から3年。土の中で眠っていた種が、ようやく芽を出したのかもしれません。

これからも新たな発見があるかもしれないと思うと、ますます目が離せません！

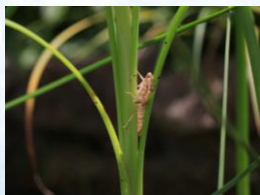
* 今回の調査で見つかった生きもの *



幼虫



成虫



ギンヤンマ



すごく小さい



ミゾコウジュ



コナギ

希少種！

ビオトープ完成から3年が経過し、水中で見られる生きものたちもすっかり顔なじみになってきました。これまでに確認された生きものは42種類にのぼり、そのうち5種類は希少な生きものです。劇的な変化は多くありませんが、生きものたちは都心のビルの屋上という限られた環境の中で、それぞれの居場所を見つけ、のびのびと暮らしています。

* COLUMN *

イトトンボが飛び立ちました！

水辺をよく観察すると、緑色の個体や橙色の個体など、さまざまな色をしたイトトンボを見つけることができます。

実は、これらはすべて同じ種のアジアイトトンボです。オスは腹部先端に青い模様があるのが特徴です。また、メスは羽化して間もない頃は鮮やかな橙色をしていますが、成長とともに少しずつ緑色へと変化していきます。オスとメス、さらに成長に伴う色の変化を見比べられるのは、身近なビオトープならではの楽しみです。

ぜひ色や模様の違いに注目しながら観察してみてください！

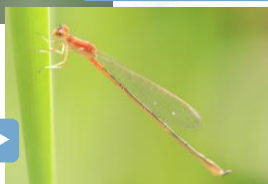


調査・監修
NPO birth 久保田 潤一



先端の模様

◀オスの個体



未熟なメスの個体▶

これからも地域の自然を大切に、
人と自然がずっと仲良く暮らしていける社会を作っていきましょう！

発信：加賀電子(株)サステナビリティ推進部